

Aichi Steiner School News Letter

contents

- P1 [特集]
- アドヴェントガーデン
- P2 [Pickup Report]
- オープンスクール2020
- 6年生 和太鼓の学び
- P3 - 8年生 狂言発表会
[保護者インタビュー]
- 公立校からの転入家庭に
聞きました。



フライア・ヤフケ「子どものための四季の祝祭」より



暗い夜に
星がひとつ目覚めた
空にあかるく輝き
世界に光を送ってくれる
暗い夜に
星がひとつ目覚めた



アドヴェントの季節に

冬至に向かってだんだんと日が短くなり、一年の中で最も夜が長いこの季節に、闇の中の光の祝祭アドヴェントガーデンは行われます。もみの木の爽やかな香り、そして、蜜燭ろうそくが溶け、ほのかに甘い香りが部屋中に広がります。

暗闇に包まれた静寂の中、子どもたちは、手仕事の授業の中で制作した蜜燭ろうそくを用いた「りんごろうそく」を手に、一人ひとり、もみの木の渦のなかに歩みを進め、中央にある大きなろうそくから光をもらいます。自分のろうそくに光が灯された瞬間、ぱあっと目の前が明るくなり、子どもの顔は皆、美しく光輝きます。心がほっと温まっていきます。

今年是世界中の人々の心が揺れ動いた年でした。思うように人と人が会えないのはこんなにもつらく寂しいもので、いつもどおり学校に通えること、授業を受けられること、友達と遊べることは、決して当たり前のことではないと知りました。それでも季節は巡ります。アドヴェントガーデンは、どんな時でも心に内なる光を灯せることの大切さを子どもだけでなく大人にも教えてくれているのかもしれない。



りんごろうそく作りと アドヴェントガーデン

昨年、初めてアドヴェントガーデンに参加しました。クリスマスの時期に、子どもたちがりんごを布で磨き、手仕事の授業で作った蜜ろうのろうそくをつけて「りんごろうそく」を作り、わくわくしながらその日を待ちました。夕方、学園の庭にランプが灯り、静かに子どもたちが集まりました。部屋に入ると、床にもみの木の葉が螺旋状に敷き詰められていました。厳かな雰囲気の中、ライアーが奏でられ、癒されるような気持ちになりました。子どもたちと保護者全員が、一人ずつりんごろうそくに火を灯し、床に置きました。ろうそくの明かりが一つ増えるごとに、部屋が明るくなっていきました。真っ赤なりんごと、もみの木の緑、そしてそれを運ぶ人がろうそくの光で輝き、一人ひとりが祝福されているようでした。とても感動的で、いつまでもそこにいて見ていたくなりました。幸せなひとときを過ごすことができ、感謝しています。

2年生保護者

Pickup Report
01

新校舎はこちら！ガイド付きツアーのオープンスクール！

4年生保護者

10月25日、秋晴れの美しい青空の下、オープンスクールを無事に終えました。例年は秋祭りを行います、COVID19の影響で開催を断念。何か違う形でできないかと保護者と話し合いを重ね、万全な対策の上でオープンスクールとしての開催に至りました。先生のガイドの下、参加者の皆さまと巡る初の試みです。6年生の勇壮な和太鼓で幕を開けます。

その後、少人数のグループに分かれ、木の香りも新しい校舎を進みます。先生から学年それぞれの学びやエピソードについて丁寧な解説がありました。

各教室、先生による美しい黒板が皆さまを迎えます。移りゆく季節と行事を大切にするシュタイナー教育では、10月は天使ミカエルの季節です。全てを見透すミカエルはただじっと見つめ、子どもの心の底にある勇気を待ちます。1年生教室ではミカエルただひとりが霞のようにぼんやり浮かびます。ミカエルの描かれた黒板を開くと、ひらがなの学びが。子どもたちの机には、曲線や直線を楽しむひらがなのノートが並びます。6年生になると手に武器を持ち、龍と戦う姿のミカエルが。学年が進むにつれ、ミカエルはますますはっきりと力強く表現されます。

美しい黒板画とそれぞれの学びに、参加者から驚きの声と数多くのご質問をいただきました。最後は、愛知シュタイナーレッヒェルン交響楽団による演奏で幕を閉じました。

新しい校舎は、たくさんの子どもの学び舎としてこの地に根ざしていくことでしょ。お越しいただいた皆さまに、心から感謝を申し上げます。



躍動感ある和太鼓演奏。



参加の皆さまも興味津々です。

シュタイナー教育100周年パネルを展示しました。



4・5年生クラスの黒板画：ミカエルと龍。結びのフォルムを意識して。



手作り販売も盛況でした。

11・12年生お手製のスケジュール帳も並びました。



6年生～12年生による演奏。新しいホールに音色が響きます。

Pickup Report
02

音に気持ちを込めて —6年生 和太鼓の学び—

12年生保護者



新校舎のお披露目会で、5人の6年生男子が和太鼓を演奏してくれました。私は最初の1、2音で涙が溢れてきてしまいました。胸に響いた素晴らしい音色、そして掛け声！お披露目会のわくわくする気分を盛り上げる、素晴らしい演奏でした。

しかし、そんな5人も最初から上手くできたわけではありません。和太鼓を指導して下さる羽田先生が、ご自身のInstagramで「音が生まれ変わった」「一人ひとりのエネルギーの欠片と大きな可能性を見た」と書かれたのは、本番間近のことでした。私は羽田先生に焦りは無かったのかと気になりましたが、「もちろん、本番はうまくいってほしいが、上手にできるかどうかより気持ちの入った演奏ができるかどうか。そこを大切にしたいと思い指導してきた」と言われました。

羽田先生は、子どもたちが変容するときを信じて指導くださったのだらうなと思いました。羽田先生の思いと、それに応えた子どもたち。お休みの日も集まって、古タイヤで練習を重ねていましたね。わが子は既に12年生ですが、この学園を選んで良かったなあとあらためて感じました。



伝統芸能に学ぶ — 8年生狂言発表会 —



狂言師 井上松次郎氏を講師に迎え、稽古を重ねました。発表当日は、狂言と能、歌舞伎の違いをわかりやすく解説いただきました。



8年生の挑戦

専科 英語教員：中村 和加子

「あいた、あいた、あーいた」ただ口真似をするばかりの太郎冠者と主人との軽妙な掛け合い、2人に振り回される客人。3人の滑稽な姿は、観客の笑いを誘う実に楽しい舞台でした。歩き方、所作、お腹の底から発せられる独特の言い回し、衣装に至るまで本格的で、8年生の数週間にわたる奮闘ぶりが察せられ、堂々たる演技に心からの拍手を送りました。

後日、授業の際に「さぞかし大変なお稽古だったのでは？」と尋ねてみるも、彼らはこともなげに「いや、それほどでも」と清々しい笑顔。それは、ひとつのことを成し遂げた達成感と自信に満ちており、次の大きなチャレンジに向けてエネルギーをたくわえているかのようで、とても頼もしく感じました。集大成としての8年生劇では、また違った彼らの可能性を見せてもらえるのではないかと今から楽しみにしています。

苦戦した言い回しも堂々と演技

3・6・8年生保護者

10月下旬、真新しい北棟ホールにて、8年生による狂言発表が行われました。狂言師井上松次郎先生にご指導いただき、約1か月間練習を重ねたそうです。

娘は、家でも熱心に練習していました。時折、歩き方や日常会話が狂言風になっていたほどでしたが、狂言独特の抑揚ある言い回しに苦戦している様子でした。

発表会当日。まずは、松次郎先生に分かりやすく狂言についてレクチャーいただき、いよいよ発表が始まりました。今回の演目は「口真似」でした。人から樽酒をもらった主人は、酒の相手に面白い人を呼べと召使である太郎冠者に言いつけます。太郎冠者がお連れした人は、有名な酔狂人であった。さあ、どうもてなすか——というお話です。

袴に身を包み、キリリとした姿で登場した8年生は、普段の恥ずかしがり屋さんの印象から一変。想像以上に声が出ていて、とても驚きました。娘は主人の役でしたが、苦戦していた独特の言い回しも、家での練習の時に比べて格段に良くなっており、堂々と演じていました。後半には会場に笑いが起こり、狂言発表は無事に終わりました。発表後、8年生の表情には、終わったことへの安堵と、やり遂げた充実感が感じられました。

余談ですが、発表当日の学童では、低学年の子どもたちが、さっそく狂言風の言い回しを真似して遊んでいました。また、上級生である高等部のお兄さんから、「狂言おつかれさま！」と声を掛けてもらう8年生の姿も見られました。

8年生の子どもたちは、次には8年生劇という大きなプロジェクトが待ち受けています。観客に伝えるためには、ゆっくり、はっきり、大きな声で——という狂言での学びを活かして8年生劇に取り組んでほしいと思いました。



保護者インタビュー

parent interview

vol.01

公立校から転入。
娘に本来の輝きが戻りました。

1・3年生保護者
鶴田 莉恵さん

2020年度、愛知シュタイナー学園に転入された鶴田さん。
転入を考えたきっかけや、現在のお気持ちについて伺いました。

シュタイナー教育をどうやって知りましたか？

大学生の時、書店でたまたま手に取ったものがシュタイナー幼児教育の本でした。素朴であたたかな雰囲気に引き込まれ、将来子どもが産まれたらシュタイナー教育で育てたいと胸に秘めていました。それから約10年経ち、実際に子どもを授かり、子育てをしていく中で、わが子には将来の幸せのために頑張る人生ではなく、「今」幸せを感じる人生を歩んでほしいと思うようになりました。ゆったりとした時間の中で、その子が生まれ持った個性を尊重してもらえると確信し、シュタイナー教育を実践している園に3年間通いました。卒園後は、近所の子どもたちと毎日よく遊んでいたの、家の隣にある公立校に行かせることにしました。

転入しようと思ったきっかけは？

長女は真面目で、誰とでも仲良くなれる明るい性格です。きっと公立校でも楽しく学んでいこうと思っていました。しかし、長女にとっては学校はすごく緊張する場でした。「きちんとしなければ」の思いが非常に強く、テストや発表には特にナーバスになってしまいます。毎朝、学校に行く前もビリビリとしていて、親として心配になりました。「いつも通りのあなたで良いんだよ」とどれだけ伝えても、どうして緊張してしまうのかわからないようでした。

そんな折に、「9歳の危機」について、シュタイナー教育ではどのような学びをしているのかを知る機会がありました。あまりにも素晴らしいカリキュラムで、これを是非とも子どもに受けさせたいと心から思いました。

子どもたちを愛知シュタイナー学園の秋祭りに連れて行くと、「この学校に行きたい！！」と力強く言いました。実際に転入するまでの間、「この学校へ転入できるんだ」と思った長女は、雲間が晴れるように輝きを取り戻したのです。長女にとっては転入できる新しい学校は、希望の光だったのだと思います。

転入してみてどうですか？

私が想像していた以上に、学校やお友達に早々に馴染み、毎日がとても楽しくて幸せそうです。「勉強が全部大好き」と言い、家でも学校で習ったことを嬉しそうにお話してくれます。長期休み中は「早く授業が始まってほしい」と言います。まるで水を得た魚のようです。親として、本当に転入させて良かったと思いました。そして、娘がありのままキラキラと輝いてくれていることが親としてこんなに満たされる思いがするのを知りました。この教育を受けた先にはどんな未来が待っているのでしょうか。芸術的な授業、丁寧に織りなす日々、一つひとつに感動しています。

愛知シュタイナー学園を写真で紹介 /

photo gallery



1. 12年生の卒業演劇「シグナルとシグナレス」を終えて。
2. 5年生：動物学と植物学の橋渡しとなるミツバチの学び。
3. 中等部が書いた習字。学園では毛筆と硬筆の授業があります。
4. 中等部が手仕事の授業で制作した靴。
5. 神無月祭では2・3年生がお月見団子を作りお供えました。
6. 5年生がクロスステッチの課題で取り組んだ手仕事作品。
7. 新校舎のために生徒たちが制作したランプシェード。

2021年度 新入生・転入生

入学説明会のご案内

2021.1/16 (土) 9:30-11:30 《午前のみ》

開催内容	<p>A シュタイナー教育の基本となるカリキュラムについて (60分程度)</p> <p>B 校舎・教室見学、学園の運営について (60分程度)</p> <p>※託児はありません。 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。 ※入学には、両親共に今年度の入学説明会 A と B に参加していることが条件となります。</p>
対象	<p>年少・年中・年長のお子さんをお持ちのご家庭と、下記学年のお子さんの転入を検討されているご家庭のみとなります。</p> <p>[転入受け入れが可能な学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度 1年生、9年生【若干名】 ・2021年度 新4年生男子【若干名】
お申込み	<p>メール：aichisteinerschool@nifty.com</p> <p>電話：0561-76-3713 (受付時間：月～金 9:00-16:00)</p>

うちはうち
教えて
日々のお弁当

うちのおべんとう

「てまひまは無駄？」

手 を掛けるとか、手当てといひます。手の力は大きい。オモニ*が語るには、手のひらの親指の丘のところにその人が生む酵素があって、それが他にはない美味しいキムチを育てるのだそうです。その家その家で美味しさも違うと。もちろん、父の手もすごい生命力です。「おむすび」は「産魂」、「おにぎり」は「鬼切」からきています。わが子にお守りを持たせたのでしょ。

お母さんの手から産まれた食べ物は、子どもにとって、体ばかりでなく心や魂の何よりのご馳走です。

てまひまは無駄、コストパフォーマンス重視という、機械に向ける眼差しそのままに、子どもを見てしまわないように、日々、結んで握って子どもたちを送り出しています。

*オモニ=韓国のお母さんの意

[9・11・12年生保護者]

校舎見学会のご案内

来て
見て
触れて

平日開催

2021.3/11 (木) 事前予約制

9:00-12:00

人数を分散させるために、ご予約時にご希望時間をお聞きします。詳細は後日HPでお知らせします。

参加費：無料 (託児はありません)

内容：2019年と2020年に完成した二棟の校舎や、日々の学びが展示されている各学年の教室見学、質疑応答など、約1時間半の内容です。どなたでもご参加いただけます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催できない場合がございます。

ご寄付のお願い

どのように社会が変わろうともそれに対応し、生き抜いていける、しなやかで独創性のある若者を育てる活動に、どうぞお力添えをお願いいたします。

[認定NPO法人への寄付に対する税金優遇措置について]

認定NPO法人へ寄付をする行為は、納税と同じレベルで社会問題の解決に参加していることに該当すると認められ、所得税、法人税、相続税、地方税も、優遇措置が受けられます。学園発行の領収書を添付し、確定申告することで税制控除を受けられます。例えば10万円寄付すると、4割ほどが還付されます。

詳しくはHPをご覧ください

Webサイト・SNSで最新情報をご確認ください

隣接したQRコードを紙などで隠して読み取ってください。



オフィシャル Web サイト



オフィシャル ブログ



Instagram



facebook



公式 LINE

ニュースレターについて

愛知県で唯一の全日制シュタイナー学校「愛知シュタイナー学園」による発行です。教員と保護者の協力のもと、執筆からデザインまでおこなっています。子どもたちの学びと教員のまなざし、保護者の想いを四季折々に綴ります。

認定NPO法人
愛知シュタイナー学園 初・中・高等部
〒470-0115 日進市折戸町笠寺山 42-13
Tel & Fax: 0561-76-3713
HP: <http://aichi-steiner.org>
E-Mail: aichisteinerschool@nifty.com

アクセス

